

資料3 風しんイムノクロマト法_医療機関アンケート_結果のまとめ

結果抜粋

回答者概要 (表)
(n=40)

参加協力施設状況

(アンケート開始時点)

研究参加登録: 23施設
迅速キット購入 18施設
(第1回参加施設 5施設)

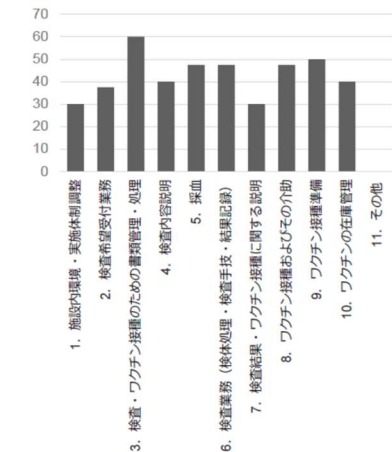
迅速キットを用いた
風疹第5期定期接種対象者
レジストリ登録あり 11施設

※「その他」と回答いただいたうち、
「医療事務」「事務」の方は『医事課』へ、
「准看護師」の方は『看護職員』へ統合

運用開始 (キット購入後) 施設参加者 集計		n
参加回	第1回	40 (両参加7人)
	第2回	18
		29
年齢	<20歳	0 (0%)
	20~29歳	3 (7.5%)
	30~39歳	9 (22.5%)
	40~49歳	12 (30%)
	50~59歳	9 (22.5%)
	60歳以上	7 (17.5%)
	(再掲) 第5期定期接種対象者	4 (10%)
職種	総務課	0 (0%)
	医事課※ 5施設・1~4人	14 (35%)
	薬剤師	0 (0%)
	検査技師 3施設・1~2人	4 (10%)
	看護職員※ 4施設・4~5人	17 (42.5%)
	医師 5施設・1人	5 (12.5%)
	その他 ※	0 (0%)
所属機関	各施設1~10名	9
	キット受検者レジストリ	
	1例目登録~アンケートまでの期間	
	2か月以上	3
	1か月以上 2か月未満	4
	1か月未満	1
	登録なし	1

回答者背景 担当業務

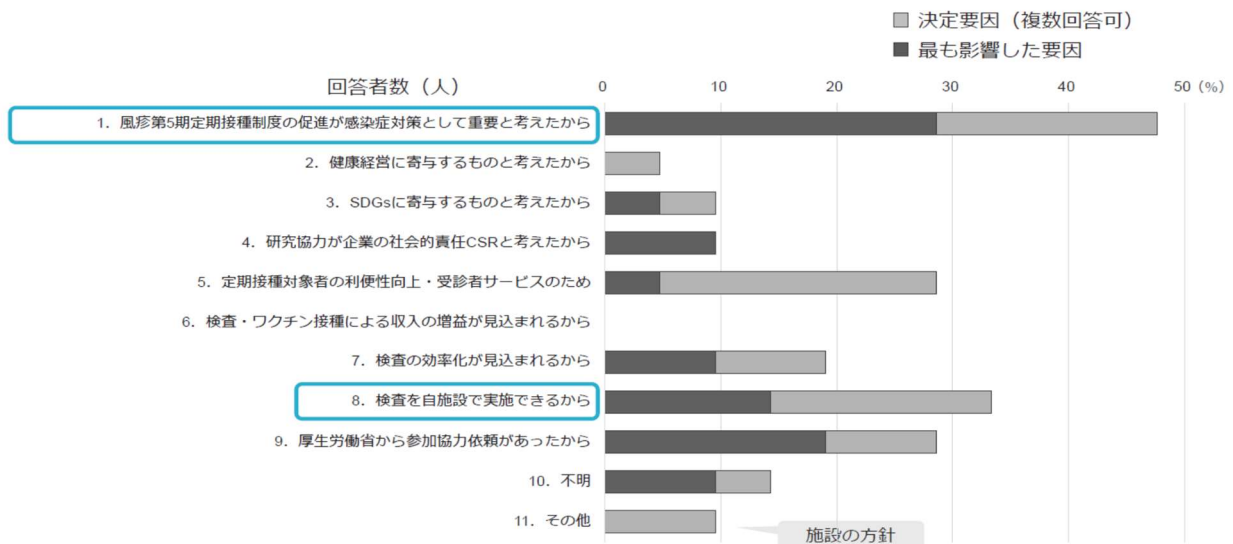
風疹第5期定期接種に基づく抗体検査・接種関連担当業務
(複数回答可) (n=40)



従事期間:
72.5% (29/40人) が 一定期間 (1~5か月以上,
期間不明含む) 継続して上記担当業務に従事

迅速キット導入決定要因 (n=21)

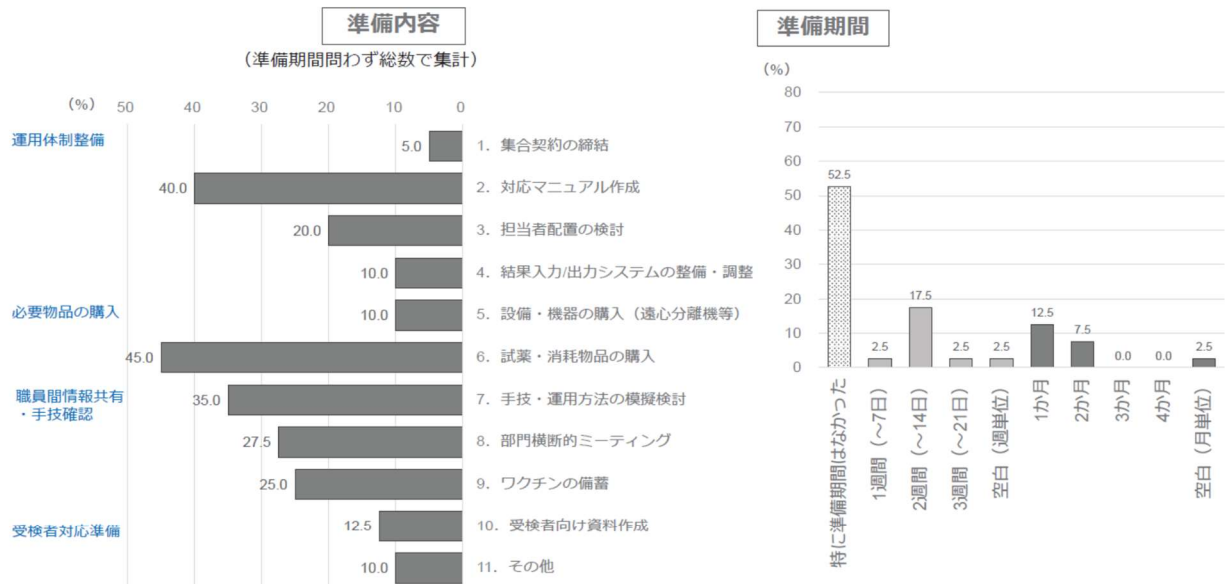
「導入決定に関わっていない」との回答者18名・回答を得られなかった1名を除く



(CSR; Corporate Social Responsibility)

迅速キット導入およびMRワクチン接種開始のための準備 (n=40)

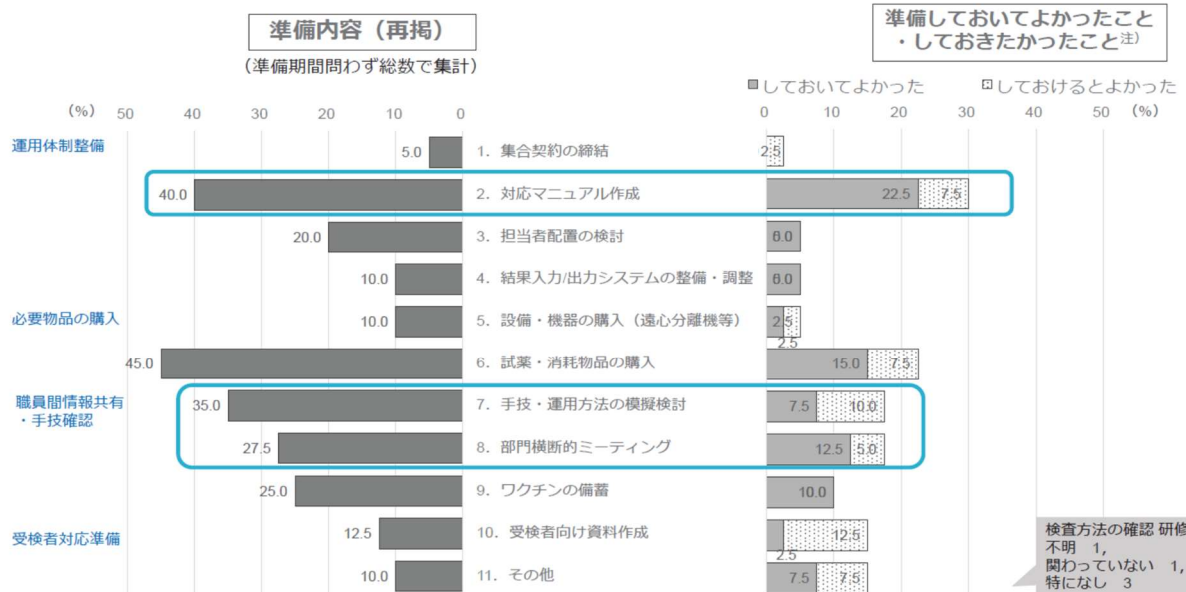
3



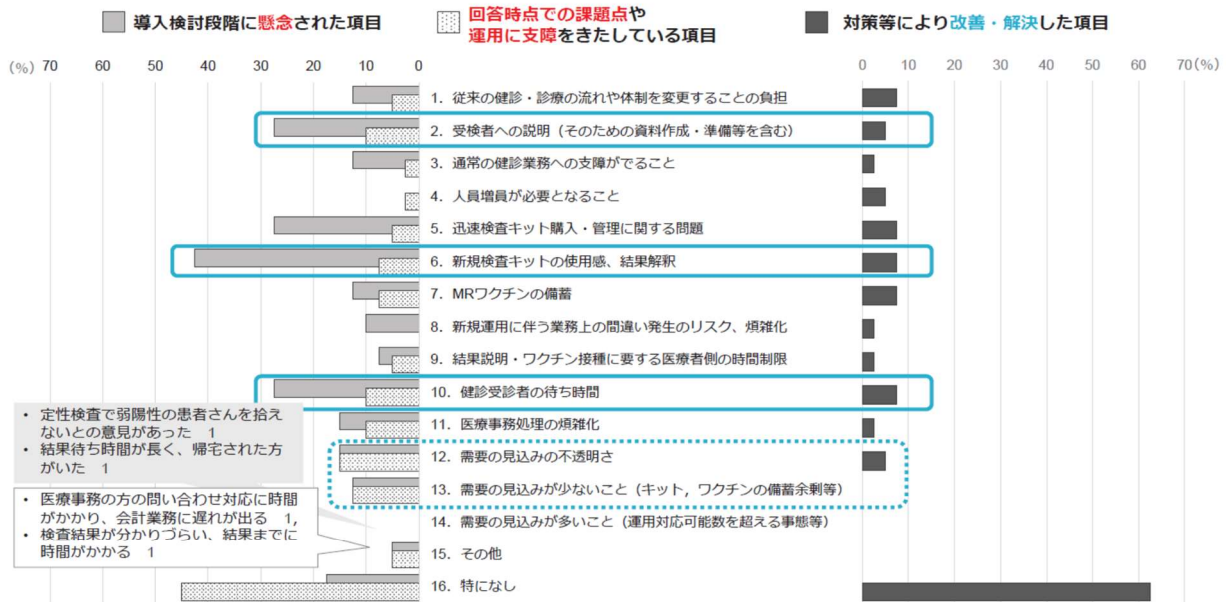
迅速キット導入およびMRワクチン接種開始のための準備 (n=40)

注) 準備内容の回答と一致した項目を「しておいてよかった」、それ以外を「しておけるとよかった」として図示

4

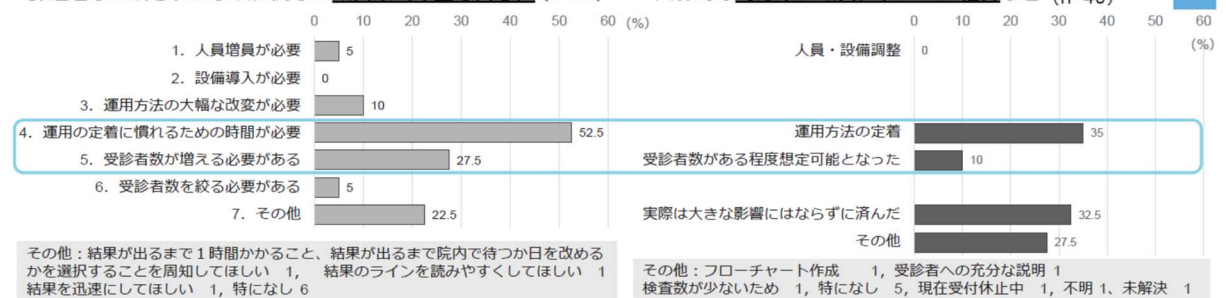


導入検討段階における懸念点 (n=40)



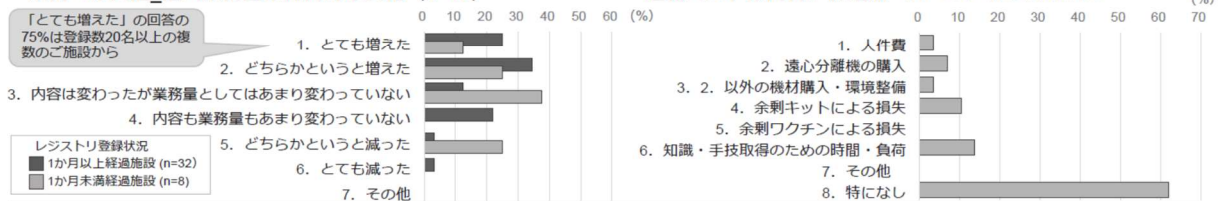
課題として残された事項に関して改善策 (希望も含む) (n=40)

具体的な対応策、改善にいたった経緯など (n=40)



業務への負担・担当業務量の総合的な変化 (n=40)

追加コストの内容、課題点 (n=29) 第2回参加者対象 (%)



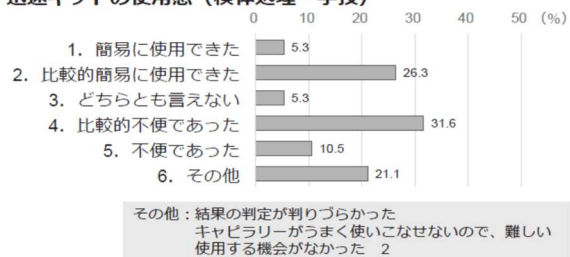
かかったコストや課題点について、考え得る対策案や条件、工夫等があればお聞かせください

- ・ キットの購入の最小単位を1検査からにする 1、・迅速キット導入の当たっての補助金制度 1、・使用する検体量が微量なため操作が困難で不安がある、結果が分かりにくい 1、・当日に結果が出るのはとても良いが患者さんの待ち時間が長い 1、
- ・ 迅速に結果を伝えるために凝固促進剤入りのスピッツを購入使用した 迅速を全面に出している事業なので必須なものだと思う 1

検査手技・検査対応に関する課題 (n=19) 検査担当者への設問

7

迅速キットの使用感 (検体処理・手技)



キットの使用しやすさ、もしくは、不便な点 7施設からのご回答

コメント (自由記載を集約)	人数
<不便な点>	
キャピラリーチューブによる血清採取、滴下が困難	14
検体量が微量のため不安があった	1
目視判定に不安があった	1
血清分離が必要である	1
検査の待ち時間がより短縮されると良い	1
<使用しやすさ>	
使用方法を覚えれば容易	2
<その他>	
使用したことがないのでわからない	1

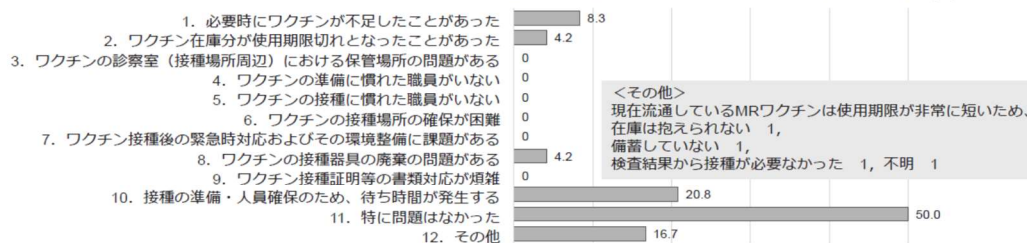
MRワクチン接種に関する課題 (複数回答可) (n=24) 薬剤師、看護職員、医師への設問

ワクチン備蓄関連

接種環境整備

書類取り扱い

受検者負担



ワクチン在庫管理状況の実状

ワクチン在庫管理者対象：実質4施設からの回答

8

健診部門専用在庫の有無 (n=16, 5施設)

	回答者数	施設数※
はい	8	5
いいえ	6	4
その他	2	2
その他：外来	1	
診察部門	1	

※施設ごと重複あり、風疹第5期対象者用と意図した設問であったが、一意の設問文とできていなかったために回答が分離したものと思われる

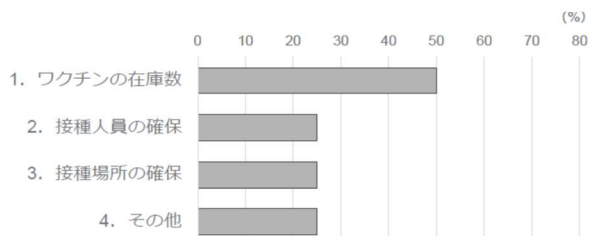
専用在庫がない場合のワクチン確保の柔軟性 (n=6, 4施設)

	回答者数	施設数
施設全体で原則一定数のMRワクチンの在庫があり、 <u>いつでも使用可能</u> である	4	3
別部門の予防接種業務に応じた予約数分から調整の余地があれば使用可能である	0	0
原則、接種には <u>必ず事前予約して在庫を確保</u> する必要がある	2	2
その他	0	

MRワクチン接種に関する課題

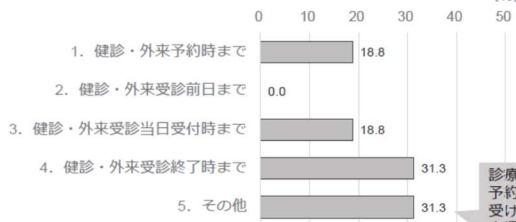
接種可能上限数に影響している要素 (複数回答可) (n=24)

その他：他受診者の待ち時間の延長 1,
日によって予約可能人数が変わる 1
労働時間の問題 1,
不明 3



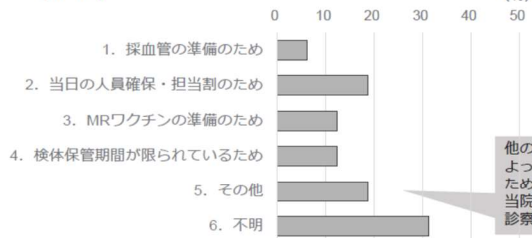
検査申し込みに関する状況 (複数回答可)

健診と同日に行う定期接種に基づく
風疹抗体検査の希望申込期限 (n=16) 総務・医事担当者対象 (%)



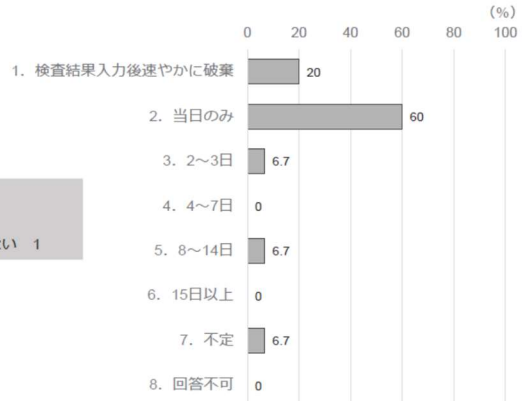
診療終了1時間前 1,
予約状況による 1,
受けつけてない 2,
小児科のためご希望がない 1

申込期限を規定している要因は何ですか (複数回答可)
(n=16) (%)



他の検査や処置等の予約状況によつては風疹検査に時間がかかるため 1,
当院が予約制のため 1,
診察時間の問題 1

血液検体の保管期間 (n=15)

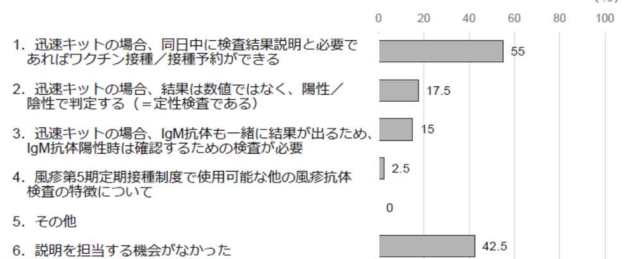


検査に関する説明 (複数回答可)

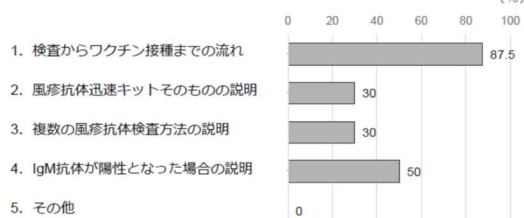
風疹抗体検査希望者に、検査前に検査方法 (種類・特性) に関する説明の機会を設けていますか (n=40) (%)



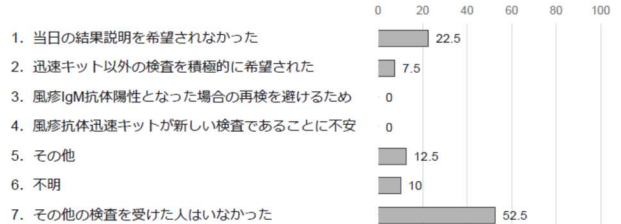
ご自身が説明を担当されたことがある場合、検査方法についてどのような内容を説明されましたか (n=40) (%)



対象者への説明にあたって、あとと便利な資料はありますか
(n=40) (%)

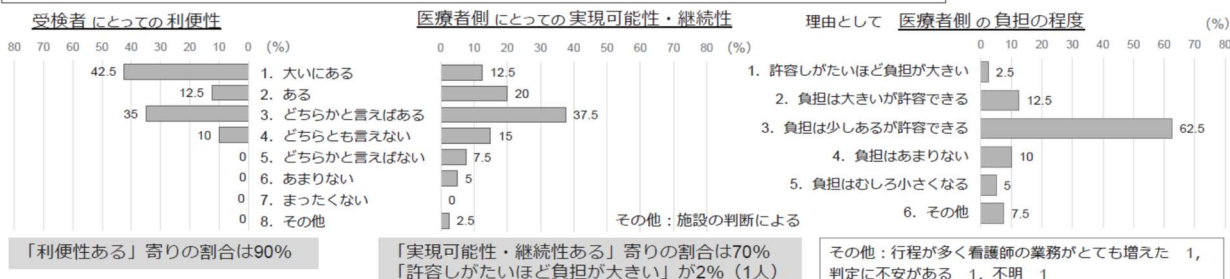


迅速キット以外の検査方法を選択した受検者の方がいた場合、受検者の方が別の検査方法を選択した理由は何でしたか (n=40) (%)

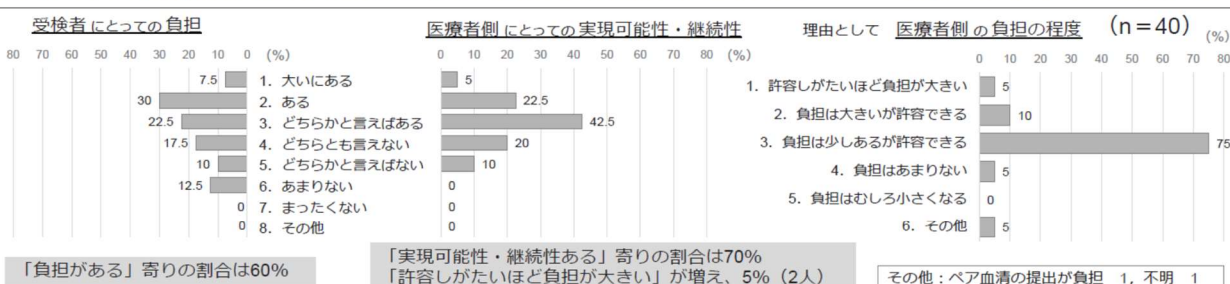


単回受診（＝迅速キットを利用して抗体検査と同日にMRワクチンの接種を行うこと）に関して（n=40）

11



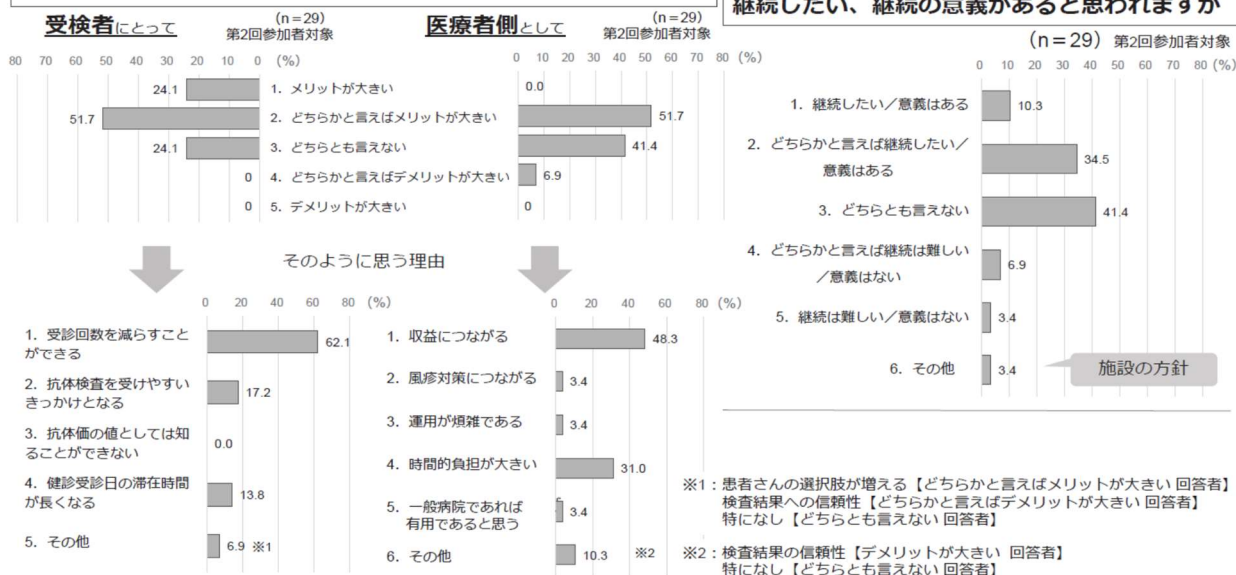
迅速キットで風疹IgM抗体が陽性となった場合に追加検査、診療が必要となることについて（追加検査、診療継続、あるいは近医紹介等）



風疹第5期定期接種制度に基づく風疹抗体価測定に迅速キットを用いることについて 全体としてのメリット・デメリットのバランスについて

本調査期間終了後も迅速キットを用いた
単回受診での風疹抗体検査・ワクチン接種の実施を
継続したい、継続の意義があると思われますか

12



本調査期間を終えるにあたり、**風疹抗体迅速キット**を導入されてよかった点があればお聞かせください

13



風疹第5期定期接種制度について、どのような点が改善、可能となると、制度活用が促進すると思われますか

第1回・第2回 全回答含む

14

<対象者自身・周囲への周知，認知度の向上>

[周知対象]

- 対象となる方がもっと知識や認識を持つ事が大切だと思う 2
- 対象者本人だけではなく周囲の人にもこの制度を理解してもらい皆で予防しよう、となればいいのでは。奥様の勧めで検査にきた、とおっしゃる方がいらした
- 対象者および社会へ周知方法の工夫が必要と思う
- 街中での啓発活動

[周知の内容]

- 風疹罹患の際、後遺症など認知が少ない
- 通知の内容が分かりにくいので 必要性や接種の流れを対象者対象者外、誰もが知る必要がある
- 迅速キットの利便性

<資材提供>

- どのように検査を進めていけば良いか、ひと目見てわかる図、わかりやすい説明パンフレットがあると良い

風疹第5期定期接種制度について、どのような点が改善、可能となると、制度活用が促進すると思われますか

第1回・第2回 全回答含む

＜利便性の向上＞

- 紙のクーポンではなく、本人のスマホアプリで対象者を確認する方法があるとよい（マイナンバーカードなど） 2
- 働き盛りの年代であるため、接種する時間を確保することはかなり難しい状況であるように思う 2
- 職場の健康診断の時に一緒に検査できるようにすれば、もう少し接種率が伸びるのではないかと思う
- 抗体価がない場合の接種が必ず当日にできるようにする
- 検査をして必要ならばワクチン接種できる確約が必要

＜キット自体の改善＞

- もっと簡易的な方法であるといい
- 検査時間が短縮されれば良い 3
- 迅速キットの導入が地域のクリニック等で進めば、制度活用は促進すると思う
- キットの性能向上 迅速検査の判定の性能を上げていただいたら、すごく便利で使い勝手の良いツールになると思う

＜その他＞

- 凝固促進剤入りスピッツなどの経費を入れた請負価格設定
- 小児科で実際するには(成人の方に対応になるので) 通常の対応と異なる部分が多いので負担が大きい
- 当日に検査ができて、結果、ワクチン接種についてもっと認知されてより良い方に繋がったら良いなと思う

〔キット購入前施設からのご回答〕

迅速キット導入決定要因（最も影響したもの）： 定期接種対象者の利便性向上・受診者サービスのため

迅速キット導入およびMRワクチン接種開始のための準備： 集合契約の締結

導入検討段階における懸念点、議論された点： 新規検査キットの使用感、結果解釈
健診受診者における需要の見込みが少ないこと（備蓄余剰）

迅速キット導入のために新たに必要となることが想定されたコスト： 知識・手技取得のための時間・負荷

導入に至らなかった要因・課題として残された事項に関する改善策・希望： 特になし

対象者への説明にあたって、あると便利な資料： 検査からワクチン接種までの流れの説明資料

接種可能上限数に影響する要素： 他のワクチン予約との調整

単回受診（＝迅速キットを利用して、抗体検査と同日にMRワクチンの接種を行うこと）に関して
受検者利便性「ある」、医療従事者実現可能性・継続性「ある」「負担はあまりない」

迅速キットで風疹IgM抗体が陽性となった場合に、追加検査、診療が必要となることについて
受検者負担「どちらかと言えばある」、医療従事者実現可能性・継続性「ある」「負担は少しあるが許容できる」

全体としてのメリット・デメリットのバランスについて
受検者、医療従事者にとってともに「メリットが大きい」

迅速キットを用いた単回受診での風疹抗体検査・ワクチン接種の実施を継続の希望・意義：
どちらかと言えば 継続したい／意義はある